

岩手県自殺対策推進センター ニュースレター

No.89 2020.7.10

発行：岩手県精神保健福祉センター・岩手県自殺対策推進センター

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化するため、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。

ニュース さらなる取組みの強化を

令和2年6月に公表された「令和元年(2019)人口動態統計月報年計(概数)」によると、岩手県の年間の自殺者数は250人でした。岩手県の人口10万人あたりの自殺死亡率は20.5で、全国ワースト2位でした(図1)。

県は、「一人でも多くの自殺者を防ぐ」を目標に掲げ、2023年(令和5年)の自殺死亡率が15.0(自殺者数178人)以下となることを目指しています。

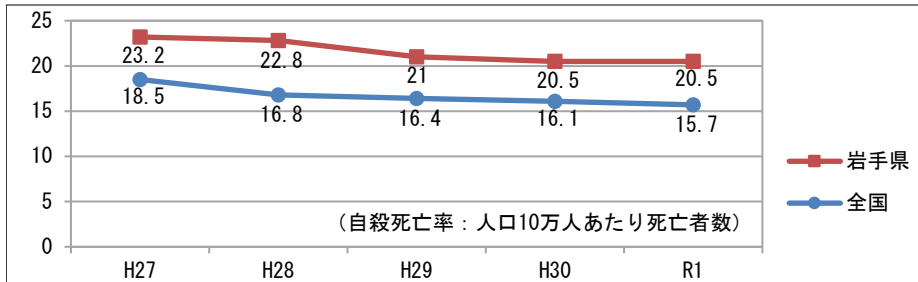
令和2年6月10日に厚生労働省から発表された「警

察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」によると、全国の令和2年5月の自殺者数は、1,501人(速報値)で、対前年比352人(約19.0%)減となりました。

岩手県の令和2年5月の自殺者数は、16人(速報値)で、**対前年比12人(約42.9%)減**となりました(表1)。

しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が不安定になるなど、自殺の危険性が高まっている方も少なくないと思います。自殺を防ぐためには、様々な分野の支援者や組織が連携し、より一層の包括的な支援を展開することが重要です。

(図1)



(表1)

	平成31年5月(確定値)		令和2年5月(速報値)		自殺者数対前年比	
	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	増減率(%)
全国	1,853	1.5	1,501	1.2	△352	△19.0
岩手	28	2.3	16	1.3	△12	△42.9

発表されたデータはこちらのページから参照できます。
厚生労働省「自殺対策」～自殺者の統計：最新の状況
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kai/igo/shougai-shahukushi/jisatsu/jisatsu_new.html/

トピックス ひきこもりへの取組み

ひきこもりとは「さまざまな要因の結果として、社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまっている状態」と定義されています。

ひきこもりに至る背景は様々で、複数の要因がからみ合っていることが大半です。そのため、ひきこもりによる問題は、本人の健康状態や対人不安など本人自身が抱える問題から、家族や周囲との関係、経済問題といったものまで多岐にわたり、様々な機関が連携して、支援にあたる必要があります。

県内の取組み

岩手県精神保健福祉センター及び県内各保健所では、電話・来所にて相談をうかがっています。当事者グループや家族教室も各地で実施しています(ひきこもり支援センターのホームページを参照)。

また当センターでは、関係機関へのサポートや、住民・支援者を対象とした研修会も開催しています。

今年度は、8月8日(土)、岩手県産業会館にて、筑波大学教授の齋藤環先生を講師にお招きし、支援者を対象とした研修会を開催する予定です(詳細は下記の通り)。中高年層のひきこもり支援を取り上げながら、本人や家族の状況を理解し、対話を通して支援することについて考えます。皆様の参加をお待ちしております。

インフォメーション 研修会・プログラム等のご案内

◆支援者向け

◇ひきこもり支援者研修会

日程：8月8日(土) 13:30~16:30

場所：産業会館 大ホール

対象：ひきこもり相談支援に携わる医療機関、行政機関、民間相談機関等の職員等【定員100名】

講師：筑波大学 教授 齋藤 環 先生

「中高年層のひきこもり支援

～対話を通して～(仮題)」

◆当事者グループ

◇小さな集まり

グループでの話し合いや季節の催しなどを通して、ストレスとの上手な付き合い方を学び、社会復帰や社会生活の不安軽減を目指していく集まりです。

日程：毎週火曜日 13:30~15:00

場所：岩手県福祉総合相談センター 4階デイケアルーム

対象：社会復帰や社会生活に不安を抱える方

各プログラムの詳細はホームページでご案内しております。

お申込み・お問合わせ：岩手県精神保健福祉センター

☎ 019-629-9617 FAX 019-629-9603

(土日祝日、年末年始を除く9時~16時30分)